みんなの未来を守る健康診断

公益財団法人 茨城県総合健診協会 機関紙



大子町 袋田の滝(ライトアップ) Vol.27 Contents

日本対がん協会賞を受賞して

細胞診との出合いから今日までの回想と今後の展望

石渡産婦人科病院 院長 石渡 勇

Topics

- 01. 「県内3ケ所で結核予防を呼びかけ」(結核予防週間活動報告)
- 02. 「検診車を広告塔に告知活動 | (がん征圧月間活動報告)
- 03. 「マンモグラフィ検診のデモ体験を実施 | (茨城県がん検診推進強化月間活動報告)
- 04. 常陸大宮市(健康づくり推進協議会)が視察見学に来られました

Other

- ・けんこうレシピ
- -やつがしらのゆず味噌-



究者として充実した 究所と産業総合研究 日々を過ごすことがで 立することができ、研 様で多くの細胞株を樹 幸運に恵まれ、おかげ マを引き続き研究する 所との共同でこのテー ち上げた際、理化学研 て小さな研究室を立 昭和52年に水戸に戻っ 生体から分離した細胞に手を加え,性質を保ち つつ長期に亘り安定して分裂を繰り返す状態に

なった培養細胞をいう。 癌は,体内で無限に分裂を繰り返して増殖する性 質があることから,体外でも同様の性質を保つ細 胞株は癌細胞を研究するうえで大変貴重である。

当時は樹立できませんでした。 胞)の分離と細胞株*の樹立」でしたが、その 頸部にある予備細胞(発がん母細胞:幹細 られてしまい、よく閉じ込められていました。 番偉く、夜遅くなると研究室の外鍵をかけ 研究所で私に与えられたテーマは、

当院の事情もあり

一子宫

2018年度がん征圧全国大会 がん検診 未来の自分にできること

本対がん協会賞受賞記念

▲懐かしい1枚

いたことが懐かしく思い出されます。 りました。当時、 がん検診事業とのお付き合いが始ま 胞検査士の方々と勉強させていただ 細胞診専門医の資格を取得し、子宮 命感と熱意に尊敬の念が堪えません。 育成されたからに他ならず、その使 細胞診専門医(旧細胞診指導医)が 方の熱心な指導の下で多くの優秀な が今の盤石な体制になったのも、先生 ならぬものであったはずです。本事業 いた先生方など、そのご苦労は並々 り県内で指導医としてご活躍いただ 来ていただいた先生方、大学から戻 その頃の私はというと、昭和53年に 、けんこうリンクの細

検診を提案 若年層を対象とした

開始されました。 うリンクで実施する医療機関検診も 関が採取した検体の細胞診をけんこ 始まりです。52年度からは、医療機 診(初年度受診数は8,891名)が まで遡り、検診車を利用した集団検 受診数は順調に伸びていき、平成 子宮がん検診事業は、 昭和43年度

員の先生方、遠方(東京)から支援に 産婦人科医会(以下、県母)会長と会 大学医学部の恩師をはじめ、茨城県 この事業の立ち上げにあたっては

ら)ことを機に、当時県母会長であった私は 度管理も充実することができました。 分類(日母分類)を併記することで、検診の 界標準)に基づいた分類を検診に導入するこ 子宮頸がん発生の概念とベセスダシステム(世 宮がん検診マニアル2006」として発刊し 訂作業には2年を要しましたが、「茨城県子 年発刊)を全面改訂することにしました。改 めた「茨母子宮がん検診マニュアル」(平成5 子宮がん検診の目的や手順、注意事項をまと 対象を20歳以上とした(県は平成17年度か また、平成16年度に国が子宮頸がん検診の しばらくはこれまで慣れ親しんできた旧

代の県母会長および会員、そしてけんこうリ 老健法)を施行し、子宮頸がん検診を法に基 な躓きもなく円滑に進んだことは、改めて歴 は大変な労力を要したと思いますが、大き づく保健事業としました。この事業整備に すが、取り巻く状況は刻々と変わっていきま ンクの協力に敬意を表する次第です。 した。昭和58年2月、国は老人保健法(以下 順調に推移してきた子宮がん検診事業で

頸がんの主な原因がHPV感染にあること 20歳以上から対象とするよう提案しました。 上に引き下げました。 を鑑み、全国に先駆けて検診対象を25歳以 り通りませんでしたが、翌13年度、 残念ながら、この提案は県の財源の問題もあ 以上が実施対象であった子宮頸がん検診を 加していることを茨城県に指摘し、当時30歳 平成12年、私は若年者の子宮頸がんが増 、県は子宮

なりました。

スライドガラス上へ薄く転写する細胞診用の標本作製方法。 採取した細胞の回収率が非常に高く,血液成分や粘液など

より高精度の検診を

能を備えています。 るHPV(ヒトパピローマウ 査)が同時にできるようにも クヒトパピローマDNA検 残液でHPV検査(ハイリス 導入によって、標本作成後の 柔軟に対応できる画期的な機 とHPV検査の併用検診にも ついており、子宮頸がん検診 ンプルを自動分注する機能も から子宮頸がんの主原因であ に、LBCOにはLBC検体 作成装置の2つを併せて設置しました。さら メーション処理装置(LBCO)と標本自 また、当時世界初導入となるLBCオー 胞診(LBC)**の導入に踏みきりました。 検診の更なる精度向上のため液状化検体細 ・ルス)を検査するためのサ 平成25年度、 、けんこうリンクは子宮頸がん LBCの 採取した細胞診検体を保存液中に分散させ,細胞を を除去できるため細胞をより観察しやすい状態にできる。

を突破しました。

元年には受診者数が延べ100万人

直接塗抹標本と液状検体処理法(LBC法)標本 〔従来〕 直接 途抹法 〔現在〕 LBC法 LBC法で標本を作製することで背景をクリアにし判定に

必要な細胞成分を濃縮させ面積を限定することで

鏡検効率をあげることができます

今後の展望 一次予防(子宮がん検診)の

HPV検査の併用検診が主流となってい 国内では、島根県が10年前から全県下 世 界の趨勢は、 子宮頸部細胞診と

で併用検診を実施しており、子宮頸がん

(浸潤がん)も減少しているとの報告が

は今後、県内はもちろんのこと全国的に る市町村は少数ですが、併用検診の導入 普及していくことでしょう。 県内では、未だ併用検診を実施してい

なされていくと思われます。 検体作成の標準化と診断基準の確立が 日本産婦人科医会で多施設共同試験が 行われているところです。今後、 (体部細胞診)の有効性についても、現在 また、LBCを用いた子宮内膜細胞診 LBC

以上に図っていかなければなりません。 いくことが肝要です。それには茨城県や 診率向上と、精密検査の受診率をあげて がん検診は受診率、特に2~30歳代の受 診機関との相互協力と連携をこれまで 市町村といった行政と、医療機関及び検 いずれにしましても、今後の県内子宮

次予防も重要

です。 頸がんの発生原因は、HPVに持続的に感 HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)だけ きるがんであり、予防できるワクチンは 染する事です。つまり、子宮頸がんは予防で いて書きましたが、次予防も重要です。子宮 さて、子宮がん検診(二次予防)の展望につ

害に関する治療法の確立と情報提供につい れました。一方で、村中璃子氏***をはじめと 撃する抗体が作られた」などの報道がなさ チンを打ったマウスの脳だけに神経細胞を攻 内容を基に、マスメディアで「子宮頸がんワク ての研究」(以下、池田班研究)で発表された 班研究「子宮頸がんワクチン接種後の神経障 0.%と低迷しています。また、厚生労働省の たことで一気に接種率は下降し、現在まで HPVワクチン接種勧奨が一時見合せとなっ 知のとおり同年6月には厚生労働省により 接種率も8%ほどになりました。しかし、周 平成25年4月、国は積極的接種を勧奨し

> かどうかについては何も証明されていない 生じた症状がHPVワクチンによって生じた 内容には科学的に基本的な問題で確認すべ という見解を出しています。 も遺憾の表明及びHPVワクチン接種後に きことが多いと指摘しており、厚生労働省 する多くの専門家は、この池田班研究の実験

ですが、国による積極的接種勧奨はいまだに 再開されていません。 一つは、HPVワクチン接種によって多くの若 い女性の命を守ることです。誠に残念なこと における言論の自由を守ること、そしてもう た。この会には二つの趣旨があり、一つは科学 方々と「守れる命を守る会」を立ち上げまし 私は医師、弁護士、ジャー ナリストなどの

おわりに

も出ています。 年後には子宮頸がんが撲滅できるとの試案 診受診率80%、これを続ければ20年から50 HPVワクチン接種率80%、子宮頸がん検

宮頸部細胞診とHPV検査の併用検診)に 予防(HPVワクチン接種)と二次予防(子 より完全に防ぐことも可能です。 私はこれからも、一人の産婦人科医、 繰り返しになりますが、子宮頸がんは 、細胞診



倹診機関

医療機関

※※※ 村中 璃子氏 (医師・医学ジャーナリスト)

是非ご一読を

公共の利益のためサイエンスを広めることに貢献した 人に与えられるジョンマドックス賞を2017年に受賞。 受賞でのスピーチは,平凡社発行「10万個の子宮, A Hundred Thousand Wombs」でご覧になれます。

受賞祝いの会には、ノーベル医学生理学賞を受賞した

本庄佑先生も駆けつけてくださいました。

行政

筆者プロフィール



石渡 (いしわた いさむ)

○主な経歴

1971年(昭和46年)

慶應義塾大学医学部卒業 同大学医学部産婦人科入局

1977年(昭和52年) 石渡産婦人科病院副院長 1989年(平成元年)

同病院長,現在に至る

○主な役職(平成30年10月末現在)

(公財)茨城県総合健診協会理事 同細胞検査診断委員会委員 茨城県生活習慣病検診管理指導協議会子宮がん部会委員 (公社)日本産婦人科医会副会長

○受賞歴

2015年(平成27年) 茨城県特別功労賞 2018年(平成30年) 日本対がん協会賞(個人の部)

各種活動に取り組んでまいります。

協会は、これからも結核撲滅に向け、

結核予防会茨城県支部を務める当

新たに結核 に罹った人

結核で くなった人





アスつくば」(28日)で「結核の常識

(25日)、「道の駅いたこ」

(26日)、「イ

及び茨城県健康をまもる女性団体連

茨城県疾病対策課、

県保健所

9月24~30日の結核予防週間に合

絡会とともに「イオンモール水戸内原

2018」などのパンフレットを配布

結核予防の大切さを呼びかける

街頭キャンペーンを展開しました。

日本を低まん延国にする目標年

知ったという声も多く聞こえ、

この普及啓発活動を続けていく必要性

つける」など結核の現状をはじめて

·結核ってまだ怖い病気なんですね」、

パンフレットを手にした方からは

「家族に高齢者がいるから心配。

を再認識しました。

いる重大な感染症です。 患者が発生し、 日本では今でも1日に50人の新たな 結核は、昔の病気ではありません。 5人が命を落として

えしたいところです。 対策も万全にして世界の人々をお迎 策はもちろん大切ですが、 るという目標を掲げています。酷暑対 年までに日本を結核低まん延国にす パラリンピック開催年である2020 厚生労働省は、 東京オリンピック 結核予防

資料:日本結核予防会結核研究所「結核の統計2017」 10人以下が低まん延国。日本は未だ中まん延国厚生労働省:結核に関する特定感染症予防指針

> ■ Topics02 ■ がん征圧月間 活動報告

opics

■ Topics01 ■ 結核予防週間 活動報告

がん検診未来の自分にできること みらい3号 趣意は、

走行中や健診会場で 「がん征圧月間」を 告知



南北自由通路の支柱に啓発ポスターを掲示

を管理するつくば市と茨城県の協力 南北自由通路の公共掲示板及び支柱 広告塔とした告知と、TXつくば駅 たいと切に願っております。 啓発ポスターの掲示を実施.

れを機にがん検診を受けていただき で活動を初めて知ったという方も、こ 活動が目に留まった方も、この記事 未来の自分のため がん検診を受けましょう~

毎年9月は「がん征圧月間」。その

がんに関する正しい知識やが

~街頭キャンペーンを展開 水戸・潮来・つくば~

がん協会グループは、全国支部|丸と 発見・早期治療の大切さを皆様に普 の活動に取り組み続けてきました。 なって1960年(昭和35年)からこ 及啓発することにあります。 ん検診を受診すること、 2018年のスローガンは がんの早期 日本対

がん検診 未来の自分に できること

届けするため、新聞広告の掲載 当協会は、 係団体への啓発ポスターの配布、 水戸駅南口ペデストリアンデッキなど に横断幕の掲示を行いました。 日本対がん協会茨城県支部である このメッセージを皆様にお

多くの県民の皆様に活動をお伝えす

新しい試みとして検診車を

そして今回、

もっと広範囲に、

茨城県がん検診 推進強化月間 活動報告

~「痛い 」「怖い 」などの不安を解消~

トを実施しました。 10月13日(土)、イオンタウン水戸南(茨城町)

がん検診を受けましょう! 啓発資材配布の様子

ない方が怖い」と体験後には検診に抱いてい 果が怖い」といった理由を挙げていらっしゃい のかを聞いてみると「痛いと聞くから」「結 進するため、 を受けます」と笑顔で応えてくださいました。 ころ「思ったほど痛みがない」「検診を受け ました。そこでデモ体験をしていただいたと たことがないという方もおり、なぜ受けない けると、これまでマンモグラフィ検診を受け 込んだ啓発資材の配布を行いました。 デモ体験を実施したほか、がん検診受診を促 たイメージが大きく変わったようで、 ピングセンター内を歩かれている方に声をか 居住市町村の検診日程を折り ショッ

で茨城県及びがん相談支援センターとともに 「茨城県がん検診推進強化月間」啓発イベン けんこうリンクは、マンモグラフィ検診の

茨城県のがんの現状

公益 問題 茨城!

います。 がんにかかり、3人に1人ががんで亡くなって 本県における2017年(平成29年)のが 生涯のうち日本人の2人に1人は何らかの

以降ずっと死因の第1位となっています。 割合 27・3%) で、1985年 (昭和60年) ん死亡数は8.820人(全死亡者に占める

デモ体験用に設置したマンモグラフィ検診車

いうイメージは薄れつつあります れば治せるものも増えており、「がん=死」と と治療の進歩により早期発見・早期治療であ がんは怖い病気ですが、一方で、近年の診断

> 50%を達成しているのは肺がん検診のみで 成することを目標に掲げました。 がん検診受診率5%を2022年度までに達 に留まっています。この状況を受け、茨城県は 他の胃・大腸・乳・子宮頸がん検診は40%台 省)をみると、 2016年の国民生活基礎調査(厚生労働 茨城県のがん検診受診率で

がん検診を受診していないと回答 モニタリング調査で6割が

ニタリング調査」(2016年度 5 無かったから今回もという保証はないのですか の受診では意味がありません。前回は異常が 検診が有効です。ただ、がん検診は1度きり です。この状態のがんを見つけるには、がん がでないものが多く、今、自分の体に早期が 回答し、がん検診を受診していないそうです。 がある」「いつでも医療機関を受診できる」と 性を感じない」、4割の方が「健康状態に自信 400名)では、 んがあったとしても気付くことは非常に困難 がんは、初期(早期)の状態では自覚症状 県が実施した「茨城県総合がん対策推進王 定期的に受診しましょう。 約2割の方が「受診の必要 対象約2

を見ていただきました。



■ Topics04 ■ 常陸大宮市視察見学 (健康づくり推進協議会)

見学にいらっしゃいました くり推進協議会から12名の方々が視察 10月17日(水)、常陸大宮市の健康づ

鏡を覗いて子宮頸がんと肺がんの細胞 り、検査技師の説明の後、実際に顕微 な表情で話に聞き入っておられました。 身のがん体験談を語っていただきまし た。参加者の皆様は時折頷きながら真剣 よろこびの会」の会員の方を招き、ご自 次に、血液や細胞検査等の見学に移 最初に、がん患者の団体である「茨城

た」、「がん体験談は説得力があり、心に 疑問だった。理由がわかってスッキリし 嬉しい感想を頂戴しました。 がわかり来てよかった」と私どもにとって 残る言葉が多くあった」、「検診の大切さ 「検診で3本も採血管を使うのがずっと 限られた時間でしたが、終了後には

からも視察見学を受け入れていきます。 診の重要性を知っていただくため、これ けんこうリンクは、私たちの事業や検

029-241-0011(代)まで 視察見学のお申込みは 「視察見学」とお伝えください

■材料(4人分)

やつがしら……280g 米の研ぎ汁……適量 だし汁……1 1/2カップ ゆず皮……1/2個分 - 白味噌…30g 砂糖…大さじ1 みりん…大さじ2 - 食塩…少々

■作り方

- 1. やつがしらは洗って皮をむき, 米の研ぎ汁でぬめりをきれいに 洗い流す。
- 2. 鍋に1.とだし汁を加えて火にか け, 少しやわらかくなったところ でAを加え,やつがしらがやわ らかくなるまで煮含める。
- 3. 器に盛り、ゆず皮の細切りをち らす。

煮含めると白煮になります。 味噌 砂 糖・みりん・塩・酒を加えて を入れずに、 だし汁・









〔出典〕いばらきのおかず(開港舎) [協力] 茨城県食生活改善推進員協議会

編集後記

先日,都道府県魅力度ランキング2018が発表され ましたが、我が茨城県は最下位記録を6年連続に更 新。昨年, NHKの「ひよっこ」が放送されたこともあり、 今年こそは脱却かと期待していたのですが残念な結 果となりました。

「茨城は住めば都」。温暖な気候に豊かな農作物, 海あり山あり、都市部にも近い。なのにどうして最下位 なのか?

近隣県に住む友人にこの疑問をぶつけたところ,こ

う返ってきました。一昔前、「そうだ、○○に行こう」とい うJR東海のCMがあったが、○○に茨城を当てはめ たことが無い。行きたいと思わないのではなく、茨城と いう単語自体が思い浮かばない。と。

衝撃でした。魅力度云々より存在感,知名度が圧 倒的にないのだと痛感しました。これではランキング で名前が挙がってこようはずがない。順位に納得。一 体どうしたら・・・県民として悶々と考える今日この頃。

(M.I)





公益財団法人 茨城県総合健診協会

〒310-8501 水戸市笠原町489-5 TEL 029-241-0011(代) FAX 029-241-0332

【全国組織】

(公財)結核予防会茨城県支部

(公財)日本対がん協会茨城県支部

(公財)予防医学事業中央会茨城県支部

【施設認定】

労働衛生サービス機能評価機構認定施設

国際品質保証規格ISO9001:2015認証取得

プライバシーマーク認証取得



□県西センター 〒308-0125 筑西市関本分中37-1 TEL 0296-20-3480 FAX 0296-20-3482 □県南センター 〒300-0025 土浦市手野町1-1

TEL 029-830-3355 FAX 029-828-0985 □茨城県立健康プラザ 〒310-0852 水戸市笠原町993-2 TEL 029-243-4171 FAX 029-243-9785

けんこうリンクは,

いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会のオフィシャルサプライヤ・

来年はいよいよ,国民体育大会(国体)と全国 障害者スポーツ大会が茨城県で開催されます。

けんこうリンクは,公益法人として大会の成 功を願って最大限にサポートし、選手の皆さん を応援していきます。



翔べ 羽ばたけ そして未来へ

個人情報保護に関するお知らせ

当協会では、機関紙「けんこうリンク」の発行に関わるみなさまの個人情報を、同紙の送付以外には使用 いたしません。次回以降、送付をご希望されない場合は、経営企画室までご連絡くださいますよう、お願い いたします。

「けんこうリンク」の各種情報は、「けんこうリンク」 検索

